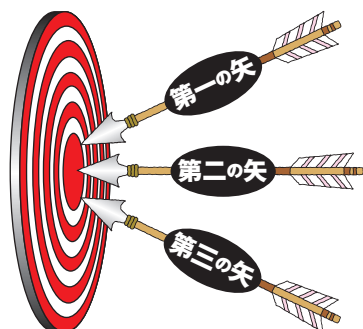


## ～教え、教えられる風土の醸成～

「VISION2020」達成に向け、大豊グループ一丸となって「3本の矢」を推進しています。



人財力向上に向けた体系づくり

グローバル生産拡大への対応

環境変化に対応した新しい仕組みづくり

企業の成長の源泉は、社員一人ひとりが元気に活躍できる職場にあり、職場の問題や課題を解決することは、職場の活力につながります。

会社として、3本の矢の推進により問題解決力・課題解決力を向上させ、より持続的な取り組みとして後戻りしない職場の風土づくりを進めることは、「VISION2020」達成に向けて不可欠です。



### ● 人財力向上に向けた体系づくり

**ねらい** 人にスポットをあて、組織を活性化する。

#### 現場を支える人財力向上 ～元気工場プロジェクト～

より快適な職場を目指し、自ら改善する「楽しみ」や「メリット」を実感させモチベーションアップに繋げていくことを念頭においた活動です。

2016年度は標準作業の「徹底」と「改善」を進め、2017年4月からスキルアップ制度をスタートさせています。



PICK UP

#### プロジェクトリーダーの声

2015年から元気工場プロジェクトはスタートしました。『教え・教えられる風土の醸成』一人ひとりが主役となり、絶えざる創意工夫と改善によりモチベーションを向上させ、常に顧客に感動を与える製品をつくり・提供し続けることを目的として、人づくり・ものづくりを重点に置き取り組んできました。元気工場プロジェクトは、2つの柱で進めています。まず、人づくりでは、知識と技能の明確化と技能の修得・伝承(暗黙知の形式知化)を目的にスキルアップ制度をスタートさせました。次に、ものづくりでは、標準作業の徹底と改善で、「異常を見える化」することから改善につなげるほか、3段階での職場レベルの見える化を進めました。作業者が達成感を得ることで、次のレベルに向けての動機づけとなり、更なるスパイラルアップを図っています。2016年より国内外「元気工場プロジェクトで統一」し同じレベルに到達することを目指しています。それと同時に、私自身の目標として、次なる名工の育成も図っています。

2016年、当社として初めて「あいちの名工」に選ばれました。



グローバル生産支援室 理事 中根 鋭二



スキルアップ制度 実技研修



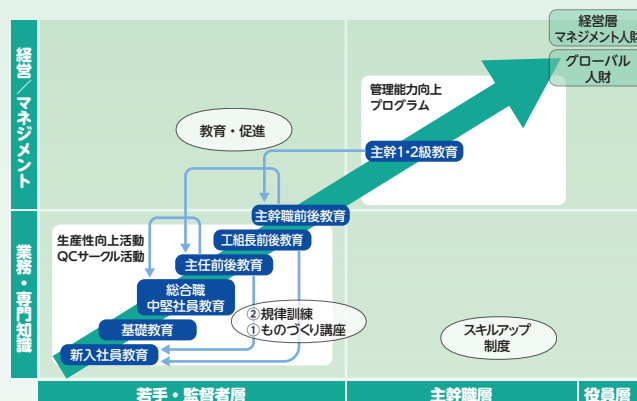
改善状況の現地点検会

## 事技員の人財力向上 事例:管理能力向上プログラム

管理職の問題解決能力・管理能力・リーダーシップ向上、マネジメント改善による職場の生産性向上を念頭においた活動です。組織や職場を扱う管理課題の問題解決の推進に対して、役員による点検が実施されています。



役員による点検会の様子



## 一体感の醸成に向けた活動

グループ全体の一体感の醸成を図るため2016年10月30日に豊田スタジアムで第2回駅伝大会を開催しました。当日は従業員とその家族を含め約2,150名が参加し大いに盛り上がりしました。



第二の矢

## ●グローバル生産拡大への対応

ねらい お客様の現地調達ニーズに応える。

グローバル視点での仕組みづくり

中国ビジネスの推進強化と海外拠点の自立化推進

海外拠点のマネジメント強化

赴任者への教育、ローカルスタッフの人財力向上

本社各機能のグローバル対応強化

海外拠点のバックアップ体制強化



第三の矢

## ●環境変化に対応した新しい仕組みづくり

ねらい 多様な人財の多様なニーズに応える。

労使一体となって取り組む「働き方改革」

ダイバーシティ推進の強化

福利厚生制度の充実 など

### 「第1回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」優秀賞を受賞

こうした人財力向上活動を中心とした「働き方改革」の取り組みが評価され、2017年3月10日、厚生労働省による「第1回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」の大企業部門・職業安定局長賞（優秀賞）を受賞しました。



表彰式の様子

